

聖霊降臨後第十主日

特定十五

主よ、どうか絶えることのない憐みをもって主の教会を守ってください。人間ははかないものであり、あなたに頼らなければ倒れてしまうほかありません。み助けによって、害のあるすべてのものからわたしたちを守り、益となるものを与えて常に救いの道に導いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はエレミヤ書第二十三章二十三節

から」

23 わたしはただ近くにいた神なのか、と主は言われる。

わたしは遠くからの神ではないのか。

24 誰かが隠れ場に身を隠したなら

わたしは彼を見つけられないと言うのかと

主は言われる。天をも地をも、わたしは満たしているではないかと

主は言われる。

25 わたしは、わが名によって偽りを預言する預言者たちが、「わたしは夢を見た、夢を見た」と言うのを聞いた。26 いつまで、彼らはこうなのか。偽りを預言し、自分の心が欺くままに預言する預言者たちは、27 互いに夢を解き明かして、わが民がわたしの名を忘れるように仕向ける。彼らの父祖たちがバアルのゆえにわたしの名を忘れたように。28 夢を見た預言者は夢を解き明かすがよい。しかし、わたしの言葉を受けた者は、忠実にわたしの言葉を語るがよい。もみ殻と穀物が比べものになろうかと

29 このように、わたしの言葉は火に似ていないか。岩を打ち砕く槌のようではないか、と主は言われる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩篇

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第八十二編

- 1 神は天の集いをつかさどり＝ 神々の中で審きを下される
- 2 お前たちはいつまで不正な裁きを行い＝ 悪人の側に立つのか
- 3 弱い人、親のない子供のために裁きをし＝ 悩む人、貧しい人に心をかけよ
- 4 弱い人、貧しい人を助け＝ 神に逆らう者の手から救い出せ
- 5 彼らは知ることもなく、悟ることもなく、暗闇の中を歩く＝ 世界の基は揺れ動く
- 6 わたしは言った、「お前たちは神々＝ お前たちはいと高き方の子」
- 7 しかし、人間のように死に＝ 支配者の一人のように倒れる
- 8 神よ、力を現して世界を審いてください＝ すべての国はあなたのもの

使徒書

朗読者 「使徒書はヘブライ人への手紙第十二章一節から」

1 こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を

忍耐強く走り抜こうではありませんか、² 信仰の創始者³ 完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、御自身の前⁴にある喜びを捨て、恥をもいとわないうで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。⁵ あなたがたが、氣力を失い疲れ果ててしまわないように、御自分⁶に對する罪人たちのこのような反抗を忍耐された方のことを、よく考えなさい。

⁴ あなたがたはまだ、罪と戦って血を流すまで抵抗したことがありません。⁵ また、子供たちに對するようにながたがたに話されている次の勧告を忘れていません。「わが子よ、主の鍛錬を軽んじてはいけません。主から懲らしめられても、

力を落としてはいけません。

⁶ なぜなら、主は愛する者を鍛え、子として受け入れる者を皆、

鞭打たれるからである。」

⁷ あなたがたは、これを鍛錬として忍耐しなさい。神は、あなたがたを子として取り扱っておられます。いったい、父から鍛えられない子があるでしょうか。⁸ およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。⁹ だから、萎えた手と弱くなったひざをまっすぐにしなさい。¹⁰ また、足の不自¹¹由な人が踏み外すことなく、むしろいやされるように、自分の足でまっすぐな道を歩きなさい。¹² すべての人との

平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、だれも主を見ることはできません。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第十二章 四十九節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

49 「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。50 しかし、わたしには受けねばならない洗礼がある。それが終わるまで、わたしはどんなに苦しむことだろう。51 あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うのか。そうではない。言っておくが、むしろ分裂だ。52 今から後、一つの家に五人いるならば、三人は二人と、二人は

三人と対立して分かれるからである。

53 父は子と、子は父と、母は娘と、娘は母と、

しゅうとめは嫁と、嫁はしゅうとめと、対立して分かれる。」

54 イエスはまた群衆にも言われた。「あなたがたは、雲が西に出るのを見るとすぐに、『にわか雨になる』と言う。実際、そのとおりになる。55 また、南風が吹いているのを見ると、『暑くなる』と言う。事実そうなる。56 偽善者よ、このように空や地の模様を見分けることは知っているのに、どうして今の時を見分けることを知らないのか。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」